

新市長就任



合志市長

大住 清昭

プロフィール

生まれ 昭和18年 野々島
熊本商科大学(現：熊本学園大学)卒
西合志村(当時)役場職員として採用

平成7年
役場を退職し、町議会議員選挙に
立候補し当選
平成11年
町議会議員2期目当選
平成14年
西合志町長選挙 初当選

政権公約(マニフェスト)の実現に最善を尽くします

合志市の初代市長に当選させていただき、市民の皆さんに心からお礼を申し上げます。

4月4日に初登庁し、市長としての仕事を始めましたが、責任の重さをひしひしと感じています。選挙では、市民の皆さんに政権公約(マニフェスト)を提示し、少しでも地縁血縁、情実の選挙から、政策を中心に判断する選挙の時代にすべきとの考えで選挙戦を展開しました。そのとき提示した政権公約の実現に向け、粉砕身・初志貫徹する決意をしております。

全国に誇れる市へ

52,536人の人口(3月末現在)を有する新生合志市は、県都・熊本市に隣接し、空路の熊本空港、陸路の高速インターチェンジ、それぞれ30分圏内にあります。人材も豊富で、自然にも恵まれており、文字どおり、本市の将来像である「未来輝く産業・定住拠点都市」の創造

ができると思います。

本市は、この特性や客観情勢の良さを生かすことで、質の高い市民生活をおくることができ、全国に誇れる市ができると確信し、意気込んでおります。

「子育て支援日本一」のまちづくりをはじめ、合併協議会で策定しました「合志市新市建設計画」の着実な実現に努力する所存であり、市職員にもマニフェストの主旨を訴え、それに従い実行することを指示しました。

個性を活かした市政

日本の社会が大きく変わりつつある中、自治体の運営の理念や、手法も大きく変えていかなければなりません。主役である市民の皆さんと、市議会・執行機関が共生と協働をはかり、個性豊かな合志市らしさを発揮できるまちづくりに全力で取り組みたいと不転の決意をしております。市民の皆さんのご指導、ご協力をお願いし、就任のご挨拶と致します。